



TITLE:

十月の天象

AUTHOR(S):

---

CITATION:

十月の天象. 天界 1924, 4(45): 374-374

ISSUE DATE:

1924-09-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160166>

RIGHT:

# 十月の天象

太陽 赤經は一二時二九分から一四時二二分迄増加し、赤緯は南三度一分から南一四度七分迄増加する。二十五日秋の第二の宮なる天蠍宮に入る。

## 氣節

寒露 八日 午後一〇時五三分

土用 廿一日 午前一時二七分

霜降 廿四日 午前一時四五分

夜明、日出入、日暮の時刻及日出入方位

夜明 日出 日入 日暮 日出入方位

日	視半徑	時分	時分	時分	度
一日	五三	五三	五二	五五	八南三・一
十六日	五五	四八	五五	五三	八一〇・二

分 秒

七日 一六 二

十七日 一六 五

二十七日 一六 七

月 五日午後一時三〇分上弦月、十三日午前五時二分満月、二十一日午前七時五四分下弦月、二十八日午後三時五七分新月、二日午後一時一二分近地點を、十八日午後五時一八分遠地點を、三十日午後二時六分近地點を通過す。

水星 一日赤經一時三〇分、赤緯北五度三分十六日赤經一三時二分赤緯南四度五七分獅子座から乙女座まで順行する曉星。七日午後

十二時北方最大日心黃緯。二十六日正午太陽に外合。三十一日午前一一時降交點通過。視直徑六・二六——四・六四秒。光度負〇・〇八一負〇・四等、十五日地球よりの距離二億〇六百七十八萬一千餘浬。

金星 一日赤經九時四二分、赤緯北一三度一七分、十六日赤經一〇時四七分、赤緯北八度二分獅子座から乙女座迄順行する曉星にして日出前三時間半にして現はる。八日午前七時昇交點通過、二十五日午前一一時六分月と合月の南一度二八分（あり）視直徑一九・二六——一五・五〇秒、光度負三・九——負三・六等、十五日地球よりの距離一億二千七百五十四萬八千餘浬。

火星 一日赤經二時五九分、赤緯南一七度二分、十六日赤經二時九分、赤緯一四度五四分水瓶座にある宵星。九日午前八時七分と合（月の南三度二八分（あり）視直徑一九・六六——一四・三六秒。光度負一・八一——負〇・九等、十五日、地球よりの距離八千一百九十九萬一千餘浬。

木星 一日赤經一六時五二分、赤緯南二二度一三分、十六日赤經一七時三分、赤緯南二二度三分蛇遺座を順行中の宵星。四日午前〇時三六分と合（月の南四度二七分（あり）三十一日午後四時九分と合（月の南〇度三三分（あり）極直徑十七日三・一・六六秒。光度負一・六——負一・四等、十五日地球よりの距離八億六千四百〇九萬五千餘浬。

土星 一日赤經一四時二分、赤緯南一〇度三

## 四〇

分、十六日赤經一四時九分、赤緯南一〇度三九分乙女座にある。二十八日午後三時一五分と合月の南二度四七分（あり）二十九日午前六時太陽と合。従つて觀測に不適當。極直徑（十七日）一三・八四秒。十一日外輪の長軸三・四・八九秒、短軸一〇・三五秒。光度〇・九——〇・八等、十五日地球よりの距離十六億〇九百三十五萬餘浬。

天王星 十四日赤緯二三時一六分、赤緯南五度三六分水瓶座にあり。十日午後七時一七分と合（月の北一度三四分（あり）十三日地球よりの距離二十八億七千四百三十四餘萬浬。

海王星 十四日赤經九時四〇分、赤緯北一四度一七分獅子座を逆行中。二十三日午前九時一分と合（月の北〇度八分（あり）十三日地球よりの距離四十五億五千七百三十七萬三千餘浬。

流星群 十月は流星出現數稍多く、九月より二十九日迄にはオリオン座流星群稍著しかるべし、下旬には往々光度強き流星を見る事あり。主なる輻射點次の如し。

赤經 赤緯 名稱

九月—十月二時四分 北九度 牡羊座流星群  
九月—九日 六時八分 北一五度 双子座流星群  
九月—九日 二時一六分 北四一度 大熊座U  
星座（十月南中の）  
一日 白鳥、水瓶、山羊  
十六日 ペガス、水瓶、南ノ魚